

ハンド式金属探知器

JM-9V2

取扱説明書 Ver.2.0



この取扱説明書を読み、内容を理解してから本器をご使用ください。

このたびは、日本金属探知機製造株式会社のハンド式金属探知器をお買いあげいただき誠にありがとうございます。本器を常に最高の状態でご使用いただくために、この取扱説明書を必ず熟読し、いつでも見ることができる所に保管してください。



金属探知機のエキスパート

日本金属探知機製造株式会社

■安全上のご注意 (必ずお守りください。)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、機能を正常に保つため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

内容を理解してから本文をお読みください。



注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注 意



- 本器を金属片の検出以外の目的で使用しないでください。
機能低下や故障・破損の原因になります。
- 機器内部に異物を入れないでください。
機能低下や故障・破損の原因になります。
- 強い衝撃を与えないでください。
機能低下や故障・破損の原因になります。
- 水に濡らさないでください。
機能低下や故障・破損の原因になります。
- 熱器具の近くに置かないでください。
機能低下や故障・破損の原因、使用者が火傷を負う原因になります。
- 指定されている電池以外は使用しないでください。
機能低下や故障・破損・液漏れの原因になります。
- シンナーやアルコールで拭かないでください。



- 分解や改造をしないでください。
機能低下や故障・破損の原因になります。



- ご使用にならない時は電源をオフにしてください。
- 長期間ご使用にならない時は、電池を取り出してください。

目次

| | |
|----------------|----|
| ■安全上のご注意 | 2 |
| 1. 概要 | 3 |
| 2. 外観図および各部名称 | 4 |
| 3. 使用方法 | 5 |
| 3-1. モード選択について | 5 |
| 3-2. 使用方法 | 6 |
| 3-3. 使用例 | 7 |
| 4. 電池カバーの開け方 | 8 |
| 5. 感度設定方法 | 9 |
| 6. 電池交換 | 11 |
| 6-1. 電池交換のサイン | 11 |
| 6-2. 電池交換方法 | 11 |
| 7. 仕様 | 12 |
| 8. 動作一覧 | 13 |
| 9. 保証規程 | 14 |
| 10. アフターサービス | 15 |

1. 概要

ハンド式金属探知器 JM-9V2は、

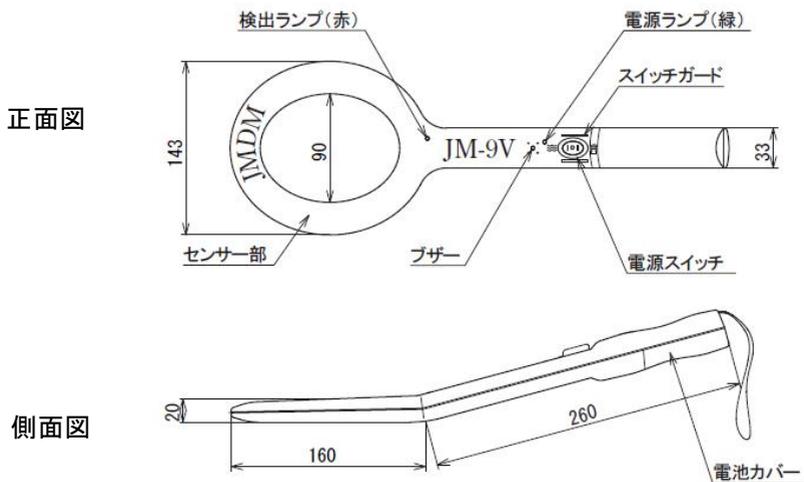
- (1) 所持品検査による凶器発見、製品に混入した金属片の検出、体感器検出などのゴト師対策やリサイクル品の中の金属検出を目的として作られた高感度タイプの金属探知器です。
- (2) 感度は3段階に切り替えができます。
- (3) アルミニウム、ステンレス、金、真鍮などの非磁性体、鉄などの磁性体など、すべての金属を検出します。
- (4) 電源スイッチの切替でブザーモード/バイブレーションモードの選択が可能です。

■クレジットカード、ペースメーカーへの影響について

このJM-9V2は、センサーに組み込まれたコイルから、非常に微弱な交流電磁場を作り出しています。

本器によるクレジットカードや、ペースメーカー等へ影響を示す報告はありません。しかし、ペースメーカー等の植込型電子医療機器を装着した人への使用については、電子医療機器メーカーや医師の勧告に従ってください。

2. 外観図および各部名称



電池ホルダー内

基準電圧調整
ボリューム

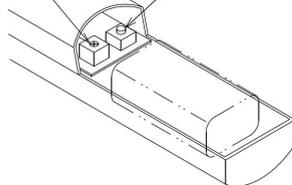
感度設定スイッチ



**基準電圧調整ボリュームを
回さないでください。**

これは本体組立後、正常な動作をするように
微調整をするためのものです。

万一回すと工場での再調整が必要になり
ます(有償)。



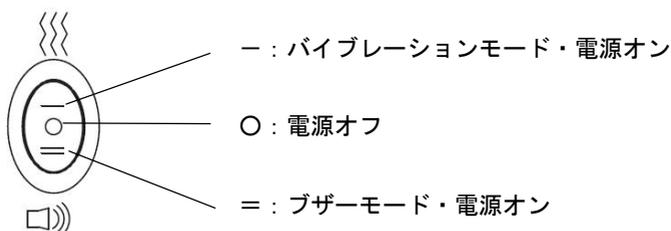
本仕様は予告なく変更することがあります。

3. 使用方法

※工場出荷時は、本器に電池を内蔵しています。

3-1. モード選択について

本器は、電源スイッチの切替でブザーもしくはバイブレーションのモード選択ができます。選択するモードで金属検出時の動作が異なります。



電源スイッチ

【モード別 金属検出時の動作】

| | 検出ランプ | ブザー | バイブレーション |
|-------------|-------|------|----------|
| | ● | □))) |))) |
| ブザーモード | 点 灯 | 鳴 動 | — |
| バイブレーションモード | 点 灯 | — | 振 動 |

バイブレーションモードを選択すると、金属を検出してもブザーは鳴りません。

3-2. 使用方法

- (1) 金属から離れたところで、希望するモード（ブザーもしくはバイブレーション）で電源スイッチをオンにしてください。

検出ランプ[赤]とブザー／バイブレーションが1～3回動作します。

→ 3-1. 選択モードについて をご参照ください。

電源オン時の検出ランプ[赤]の点滅およびブザー／バイブレーションの動作回数は設定感度によって異なります。

【電源オン時の検出ランプ[赤]の点滅・ブザー／バイブレーションの動作回数と設定感度】

| 動作回数 | 設定感度 | ※工場出荷時の感度は 最高の「3 (HIGH)」に 設定されています。 |
|------|------------|---|
| 3回 | 感度3 (HIGH) | |
| 2回 | 感度2 (MID) | |
| 1回 | 感度1 (LOW) | |

感度設定が[3]の時、電源スイッチをオンにすると、検出ランプ[赤]とブザーもしくはバイブレーションが3回動作します。

→感度設定については、5. 感度設定方法 をご参照ください。

- (2) 電源ランプ[緑]が点灯し、金属の検出が可能となります。
- (3) リング状のセンサー部を検査対象に近づけて金属の有無を調べてください。
金属を検出すると検出ランプ[赤]の点灯と、ブザー／バイブレーションで検出動作をお知らせします。
- (4) 検査終了時は電源スイッチをオフにしてください。

3-3. 使用例

- (1) 足を検査する時は、コンクリートの床の中にある鉄筋や金属を検出しないよう、高さ20cm以上の金属を使っていない台の上に登らせて検査するのが適正です。台で動作しないことを事前に確認してください。
- (2) センサー部の厚みは薄いので、わきの下や両足の間に差し込んで検査することが容易です。
腕や足の厚み分の距離を離れると金属を検出できないことがあります。
- (3) 金属は1つとは限りません。2つ以上の凶器を隠し持っている可能性があります。金属を検出したら、その金属を提出させて体から1 m以上離し、金属を検出しなくなるまで同じ場所を検査してください。
- (4) 本器が検出した時は、金属があると確信し、相手が金属を提出した後も繰り返し検査することをお勧めします。

※ここでは標準的な検査動作を記載しています。検査基準を定める時の参考にしてください。検査基準がある場合は基準に従ってください。

人に対する検査（ボディチェック）時のご注意



- 工場出荷時の感度は最高の「3 (HIGH)」に設定されています。
- 最高感度「3 (HIGH)」の設定で使用すると、背中など面積の広い部位や個人差によっては、金属がなくても人の体で反応する場合があります。
感度設定「2 (MID)」もしくは「1 (LOW)」に感度を下げてください。

4. 電池カバーの開け方

電池交換や感度変更の時は、グリップ部裏の電池カバーを下記の手順で開けてください。

- 工場出荷時は本器に電池を内蔵しています。 →6. 電池交換 をご参照ください。
- 感度設定スイッチは電池ホルダー内にあります。
→5. 感度設定方法 をご参照ください。

※電池カバーのツメや電池ホルダー内の感度設定スイッチ、基準電圧調整ボリュームを破損させないようにご注意ください。



(1) 電池カバーを手で覆うように持ち、

(2) 電池カバーをストラップ側へ少し引っ張りながら、



(3) 電池カバーの、本体との接合部を斜め上へ上げ、取り外してください。



(4) 電池交換や感度変更が終わったら、電池カバーを元通りにセットしてください。

電池カバーのツメを折らないようにご注意ください。

5. 感度設定方法

本器の感度は3段階に切り替えができます。

工場出荷時の感度は最高の「3 (HIGH)」に設定されています。

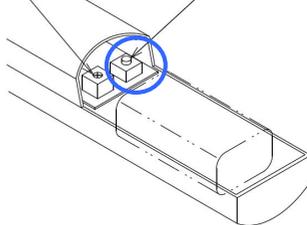
(1) 本器グリップ裏の電池カバーをはずしてください。

→4. 電池カバーの開け方 をご参照ください。

(2) 電池ホルダー内に感度設定スイッチがあります。

基準電圧調整
ボリューム

感度設定スイッチ



**基準電圧調整ボリュームを
回さないでください。**

これは本体組立後、正常な動作をするように
微調整をするためのものです。

万一回すと工場での再調整が必要になり
ます (有償)。

電池ホルダー内

(3) 電源オンの状態で感度設定スイッチを2秒以上長押しすると、感度は

3 (HIGH) → 2 (MID) → 1 (LOW) → 3 (HIGH) → 2 (MID) → 1 (LOW)...

と自動で連続に切り替わっていきます。感度は、**検出ランプ[赤]**の点滅
および**ブザー／バイブレーション**の動作回数 (※) で判別できます。

設定したいところで押すのをやめてください。

※動作回数と設定感度についてはP. 10の表をご参照ください。

一度感度設定をすると、電源をオフにしても設定は維持されます。

【感度切替時および電源オン時の検出ランプ[赤]の点滅・ブザー／バイブレーションの動作回数と設定感度】

| 動作回数 | 設定感度 | ※工場出荷時の感度は 最高の「3 (HIGH)」に 設定されています。 |
|------|-------------|---|
| 3回 | 感度 3 (HIGH) | |
| 2回 | 感度 2 (MID) | |
| 1回 | 感度 1 (LOW) | |

感度を[3]に設定した時および感度設定[3]の状態です電源スイッチをオンにした時、検出ランプ[赤]とブザーもしくはバイブレーションが3回動作します。

- (4) 電池カバーを元の通りに戻してください。電池カバーのツメを折らないようにご注意ください。

6. 電池交換

6-1. 電池交換のサイン

本器はバッテリーチェック機能により、電池交換のタイミングが電源ランプ[緑]、検出ランプ[赤]とブザー／バイブレーションで確認できるようになっています。正しい検出のためにも電池交換のサインが出たら、新しい電池と交換してください。

【モード別 電池交換のサイン（バッテリーアラーム）】

| | モード | 電源ランプ | 検出ランプ | ブザー | バイブレーション |
|--------------------------|----------|---|---|---|---|
| | |  |  |  |  |
| 電池交換近い (金属検出 します) | 共通 | 点滅 | — | — | — |
| 電池即時交換 (金属検出 しません) | ブザー | 点滅 | 点滅 | 間欠鳴動 | — |
| | バイブレーション | 点滅 | 点滅 | — | 間欠振動 |

6-2. 電池交換方法

(1) 交換用の9V角形乾電池(006P)をご用意ください。

8.4Vの充電式乾電池で正常動作確認済みです。

→6-1. 電池交換のサイン をご参照ください。

(2) 本器グリップ裏の電池カバーをはずしてください。

→4. 電池カバーの開け方 をご参照ください。

(3) 古い電池を取り出し、極性(+)に合わせて新しい電池をセットしてください。

(4) 電池カバーを元通りに取り付けてください。

電池カバーのツメが折れないようにご注意ください。

7. 仕様

| | |
|---------------|--|
| 寸 法 | 全長／420mm センサー部／143X160mm |
| 重 量 | 250g（電池重量含む） |
| 本体ケース | ABS樹脂 |
| 電池寿命 | 連続検出時間(10秒に1回検出した場合) ブザーモード／約42時間 バイブレーションモード／約42時間 ※アルカリ乾電池使用時 |
| 電 池 | 9V角形乾電池(006P等) |
| 使用温度 | -10 ～ +50℃（結露なきこと）※1 |
| 警 報 | ①検出ランプ[赤]+ブザー（ブザー MAX 80db） ②検出ランプ[赤]+バイブレーション ①②切替式 |
| 感度設定 | 3段階切替式 |
| 検出能力 | ①金 (27×17×1.6t・10g・24金)／85mm ※2 |
| | ②鉄 (50×50×2t)／135mm |
| | ③鉄 (φ20×1t)／75mm |
| | ④ステンレス (50×50×2t)／170mm |
| | ⑤ステンレス (φ20×1t)／100mm |
| | ⑥真鍮 (50×50×2t)／140mm |
| | ⑦真鍮 (φ20×1t)／85mm |
| | ⑧アルミ (50×50×2t)／130mm |
| | ⑨アルミ (φ20×1t)／70mm |
| | ⑩ホッチキス針 (35×18mm)／40mm |
| | ⑪釘 (L=50mm)／60mm |
| ⑫500円硬貨／110mm | |
| ⑬100円硬貨／105mm | |
| ⑭ 50円硬貨／100mm | |
| ⑮ 10円硬貨／ 85mm | |
| ⑯ 5円硬貨／ 75mm | |
| ⑰ 1円硬貨／ 75mm | |

※1. 防水・防滴構造ではありません。

※2. 金 (27×17×1.6t・10g・24金)をセンサー部から85mmの距離まで検出。

※3. 日本製です。

※4. 仕様は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

8. 動作一覧

(参考) ランプ・ブザー・バイブレーション動作一覧表

モード：B=ブザーモード V=バイブレーションモード

| 操作・現象 | モード | 電源ランプ | 検出ランプ | ブザー | バイブレーション |
|-------------------------|-----|---|---|---|---|
| | |  |  |  |  |
| 電源スイッチ オン時 (P. 6) | B | — | 1-3 回点滅 ※ | 1-3 回鳴動 ※ | — |
| | V | — | 1-3 回点滅 ※ | — | 1-3 回振動 ※ |
| 感度設定時 (P. 9) | B | 点 灯 | 1-3 回点滅 ※ | 1-3 回鳴動 ※ | — |
| | V | 点 灯 | 1-3 回点滅 ※ | — | 1-3 回振動 ※ |
| 通常状態 (P. 6) | 共通 | 点 灯 | — | — | — |
| 金属検出時 (P. 5, 6) | B | 点 灯 | 点 灯 | 鳴 動 | — |
| | V | 点 灯 | 点 灯 | — | 振 動 |
| 電池交換近い <検出可能>(P. 11) | 共通 | 点 滅 | — | — | — |
| 電池即時交換 <検出不可>(P. 11) | B | 点 滅 | 点 滅 | 間欠鳴動 | — |
| | V | 点 滅 | 点 滅 | — | 間欠振動 |

※検出ランプ[赤]の点滅・ブザー/バイブレーションの動作回数は、設定感度（3段階切替）によって異なります。動作回数で設定感度を判別できます。

例) 3回動作すれば、感度設定は「3 (HIGH)」です。

9. 保証規程

1. 保証期間は工場出荷日より13ヶ月です。
保証期間中に正常な使用状態において、万一、故障した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間は弊社にてシリアルナンバーを記録しています。
シリアルナンバーは、本器裏に貼付の機器銘板ラベルに印字されています。
※シリアルナンバーがない、あるいは判別できない、書き換えられている場合などは保証対象外となりますのでご注意ください。
3. 次のような場合には保証期間内でも有料となります。
 - ・使用上の誤りにより生じた故障
 - ・落下や、打ち付けるなど強い衝撃を与えたことが原因による故障
 - ・当社に無断の修理、改造、分解掃除等による故障
 - ・本器が水没、水濡れの場合
 - ・火災、天災、地震などによる故障
 - ・規定電圧以外の電池を使った場合
 - ・電池の液漏れによる修復
 - ・電池カバー、電池スナップのバネ・コード、ストラップの破損
4. 修理品をご持参頂くに際しての諸費用はお客様にてご負担願います。
5. 修理品の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって一部ご負担いただく場合があります。
6. 本器の故障による損害等の補償はできませんのでご了承ください。
7. 本保証規程は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

10. アフターサービス

ご不明な点、あるいは不具合な場合は、お買い上げいただいた販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

その際は右の3点についてお知らせください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 型 式 名 : JM-9V22. 製造番号 : (機器本体裏の銘板ラベルに記載)3. 現 象 |
|---|

※本製品の部品保有年数は7年となっておりますので、それ以後現状での修理をお受けできない場合があることをご了承願います。

- 本書の著作権は当社に帰属します。
- 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することを禁止します。
- 2021年2月 Ver. 2.0発行

日本金属探知機製造株式会社

大 阪 〒567-0024 大阪府茨木市三咲町1-27
TEL. 072-627-4553 FAX. 072-626-6967

東 京 〒111-0041 東京都台東区元浅草1-17-8
TEL. 03-5828-6551 FAX. 03-5828-6450

名古屋 〒491-0912 愛知県一宮市新生4-4-7-405
TEL. 0586-45-9153 FAX. 0586-45-9154

<https://jmdm-atter.co.jp/>



日本金属探知機製造株式会社

大 阪 〒567-0024 大阪府茨木市三咲町1-27
TEL. 072-627-4553 FAX. 072-626-6967

東 京 〒111-0041 東京都台東区元浅草1-17-8
TEL. 03-5828-6551 FAX. 03-5828-6450

名古屋 〒491-0912 愛知県一宮市新生4-4-7-405
TEL. 0586-45-9153 FAX. 0586-45-9154

<https://jmdm-atter.co.jp/>